

オリコンサル



野崎社長

作品集を発行 社員に誇りとやりがい

EGACY（レガシー）を
発行する。社員満足の向上な
どを目的として進めている
「情熱とやりがいプロジェクト」
の一環として計画したも
ので、野崎秀則社長は、発行
の理由を「次世代に資産を残
していることを誇りに思っ

もらえるよつに発想した」と話している。

第1号は橋梁をテーマとし、1年間に1冊ずつ3年にわたって発行する。橋梁以外にもトンネル、道路、河川など各事業部門ごとに作成する予定だ。野崎社長は、「社員がやりがいを再確認できる。どのような工夫や取り組みをしたか、駆使した内容、設計検討のプロセスを残す」とし、発行を通じてプロジェクトの目的としている社員のやりがいのアップにつなげたい考えだ。作品集は約60冊。完成品は営業用ではなく、社内や大学などに配布する。

情熱とやりがいプロジェクトは、社員数の増加、就業環境の改善、品質の確保など8つの経営施策に沿って総合的に進めており、この一環として『情熱とやりがい』冊子をこれまで3号発行している。

3年後に同社は創業60周年の節目を迎えるが、野崎社長は

「ノウハウを伝え、残した資産を振り返るためにも重要だ」と強調する。